

# 第5次豊郷町総合計画 中間評価

一生青春

みんなで安心 元気なまち

令和6年8月

豊郷町

# I 人口ビジョンについての実績評価

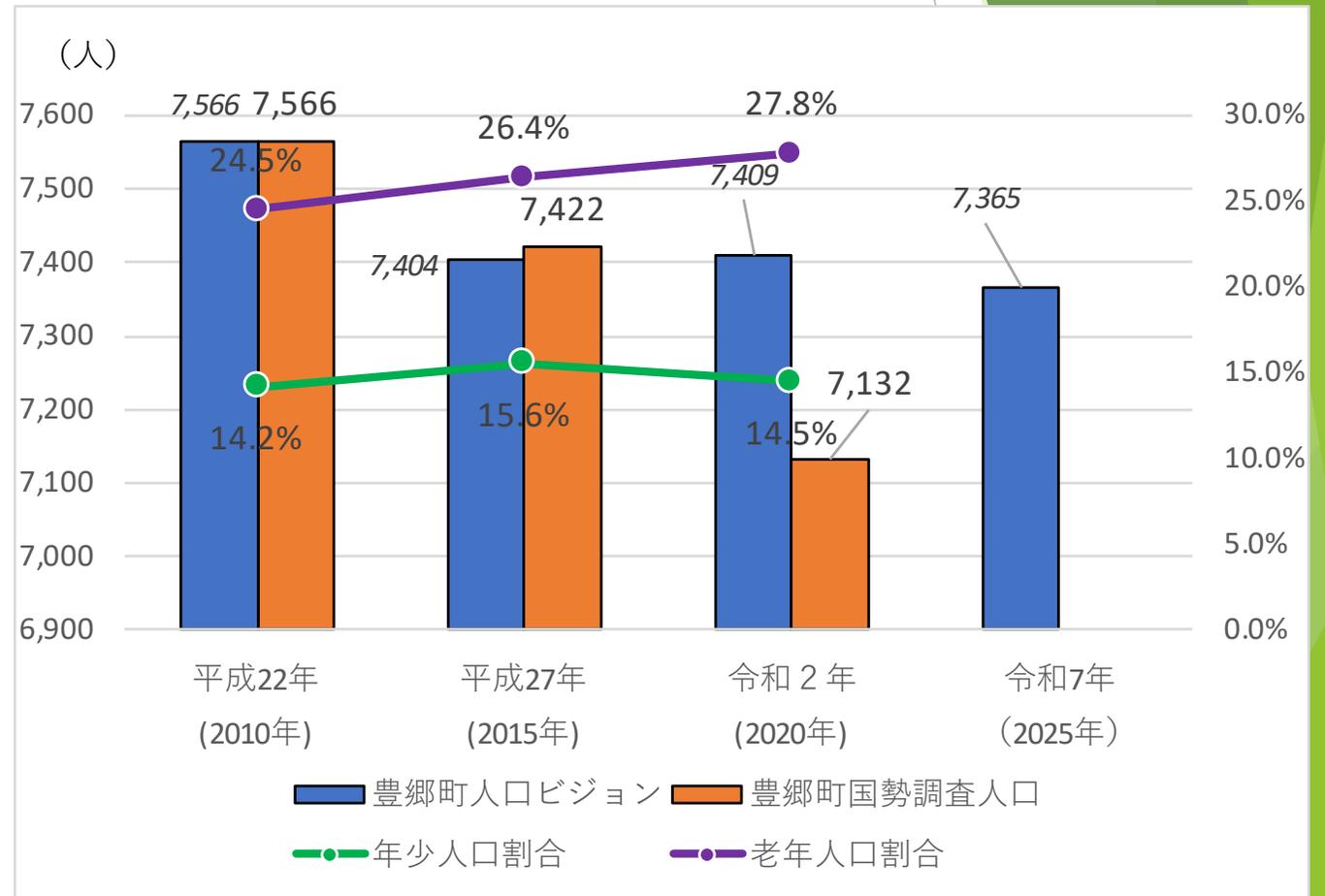
## 1 豊郷町の人口の推移

豊郷町人口ビジョンでは将来展望人口として、令和2年(2020年)に7,409人、令和7年(2025年)に7,365人を見込んでおり、第5次豊郷町総合計画でも目標年次である令和10年(2028年)に7,300人を維持するとしている。

令和2年(2020年)の国勢調査人口は7,132人であり、豊郷町人口ビジョンの推計値7,409人に対して277人少ない結果となった。平成22年(2010年)の7,566人からは434人の減少である。このまま推移すると令和7年(2025年)にはさらに乖離が広がる懸念もある。

少子高齢化も進展しつつあり、老年人口(65歳以上)割合(高齢化率)は令和2年には27.8%と上昇し、年少人口(0歳~14歳)割合は令和2年には低下して14.5%となっている。

豊郷町人口ビジョンと国勢調査人口の推移

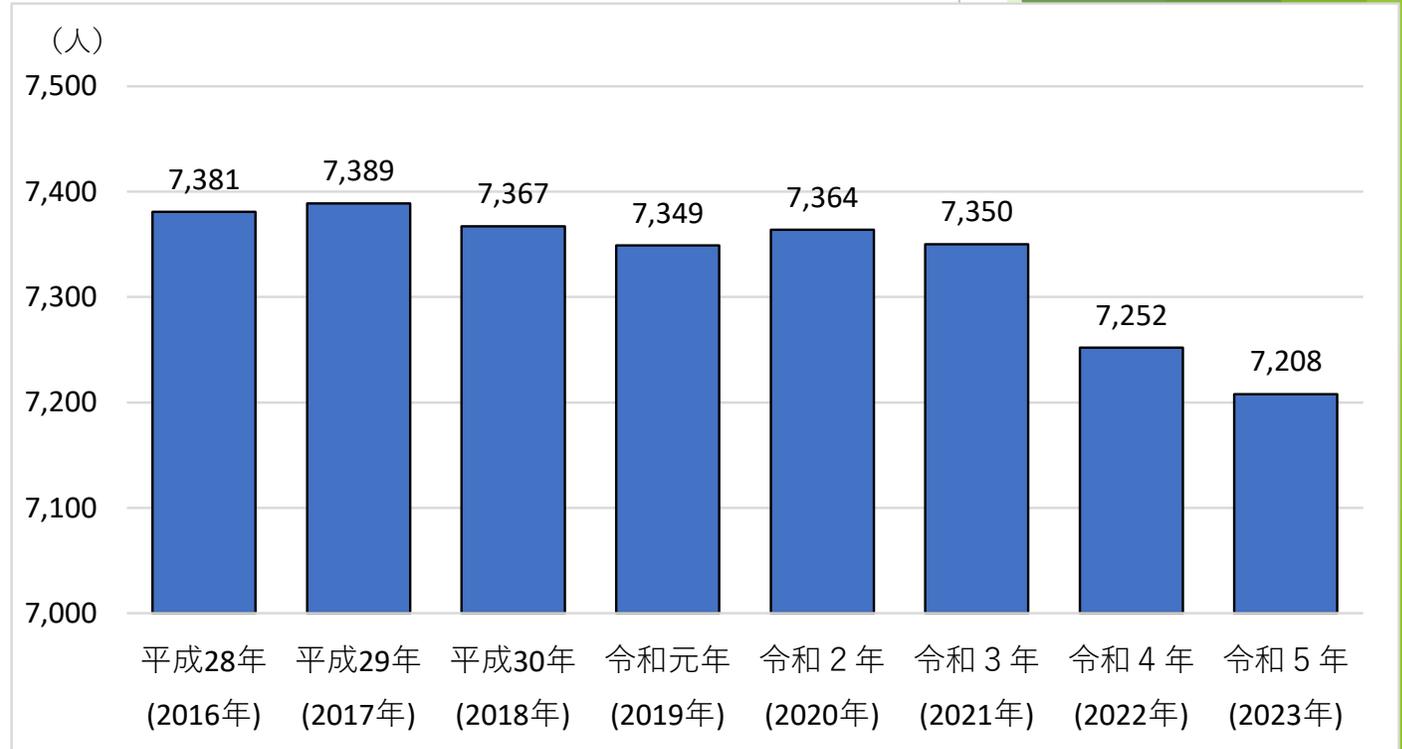


資料:国勢調査

# I 人口ビジョンについての実績評価

住民基本台帳人口の推移をみると、平成28年以降横ばい・微減で推移してきたが、令和4年に大きく減少し、令和5年には7,208人となっている。

豊郷町の住民基本台帳人口の推移



資料:住民基本台帳(各年1月1日現在)

# I 人口ビジョンについての実績評価

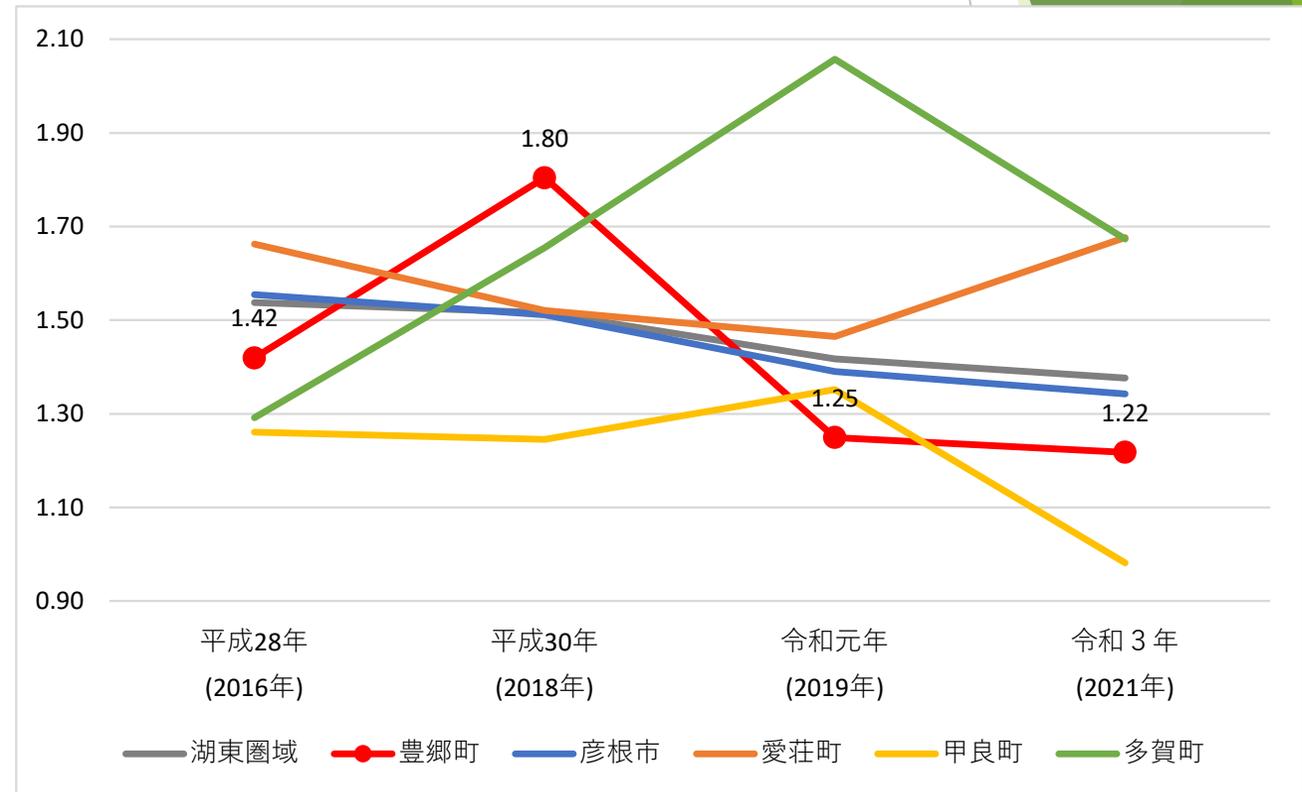
## 2 豊郷町の合計特殊出生率の推移

豊郷町人口ビジョンの将来展望では出生率について、「2008年から2012年の合計特殊出生率は1.76である。現在の合計特殊出生率(直近値)1.83を2030年まで維持、2030年以降は人口置換水準の2.07に」という考え方を掲げている。

これに対して実際の合計特殊出生率は、令和元年(2019年)に1.25、令和3年(2021年)に1.22と減少しており、将来展望と大きく乖離している。

近隣自治体では、多賀町、愛荘町で高い水準だが、彦根市ではやや低く、甲良町では低くなっている。

豊郷町及び近隣自治体の合計特殊出生率の推移



数値は豊郷町

資料:滋賀県推計人口及び湖東健康福祉事務所事業年報より算出

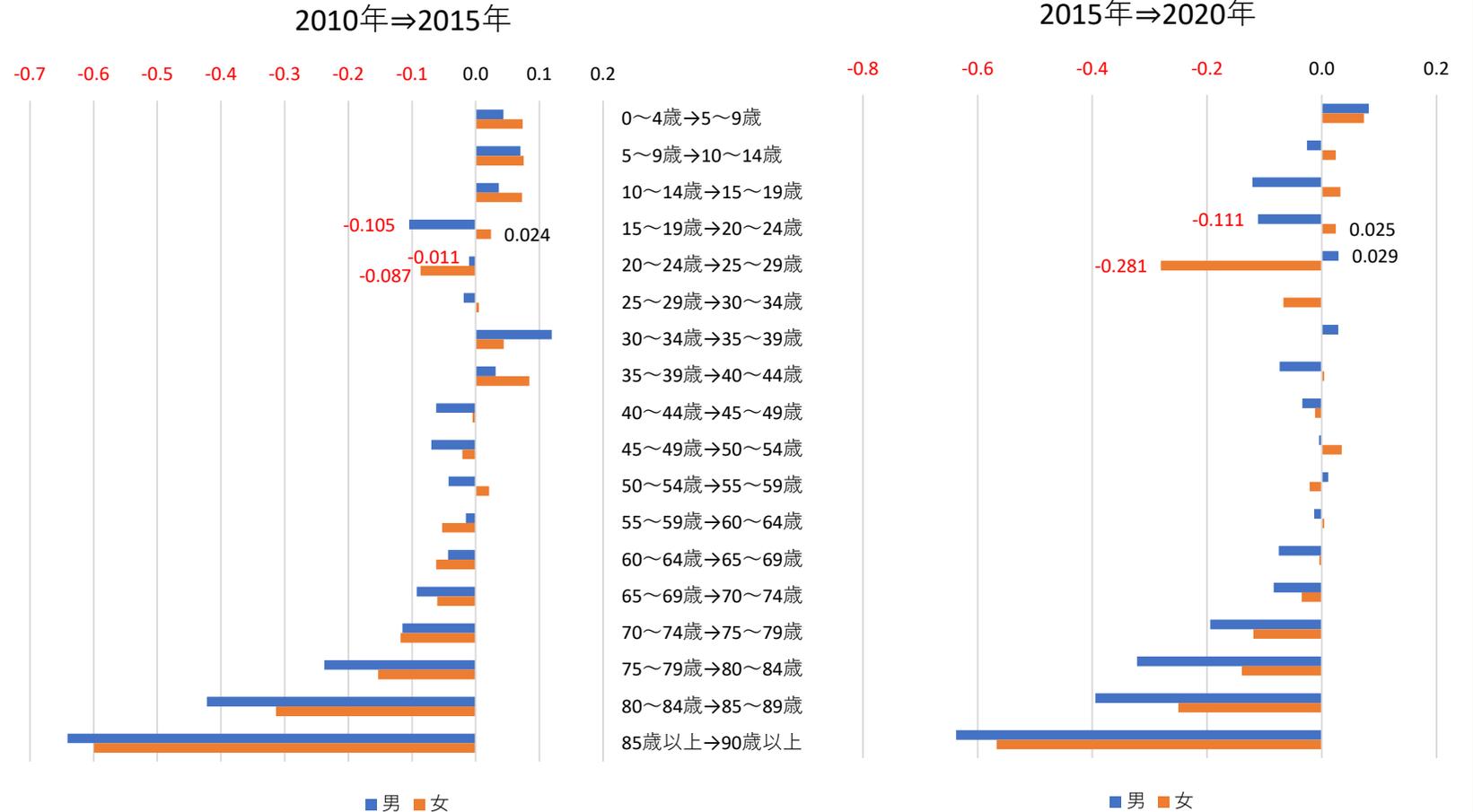
# I 人口ビジョンについての実績評価

## 3 豊郷町の性別・5歳階級別人口の変化率の推移

豊郷町人口ビジョンの将来展望では、人口の社会移動に関して「若年層の転出を2030年以降は過去実績の半数程度に抑制。転入は過去実績の半数程度を維持」という考え方を掲げている。

これに対する現状として、2010年⇒2015年と比べて、2015年⇒2020年の変化をみると、10～19歳における増加が減少し、男性ではマイナスに転じている。25～29歳の女性の減少が大きくなっている。35～44歳における増加が減少し、中でも40～44歳の女性ではマイナスに転じている。

豊郷町の性別・5歳階級別人口の変化率の推移



資料: 国勢調査より算出

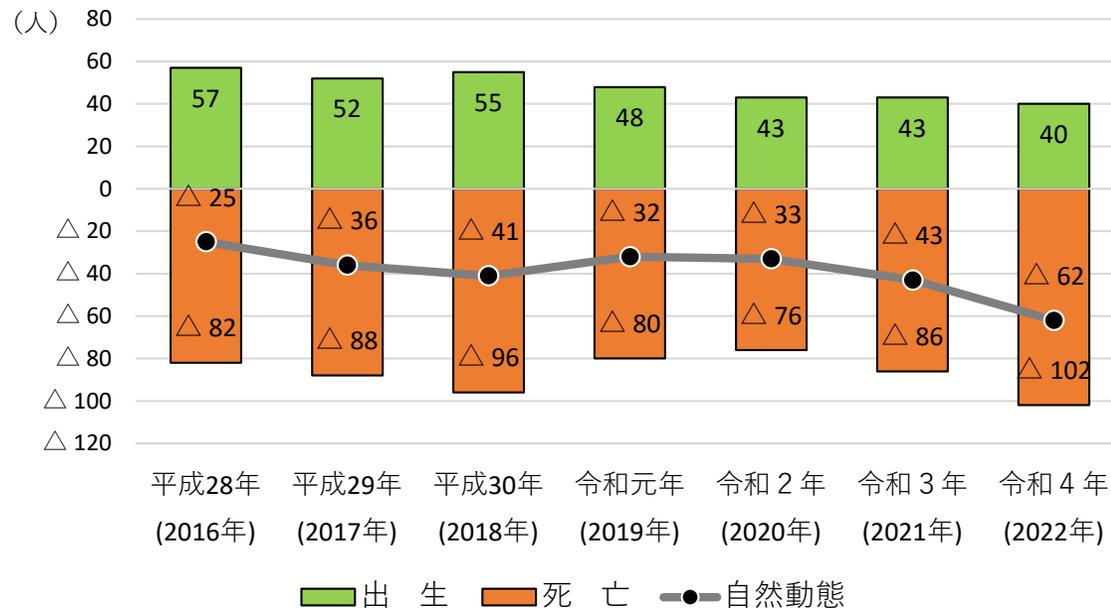
# I 人口ビジョンについての実績評価

## 4 豊郷町の人口動態の推移

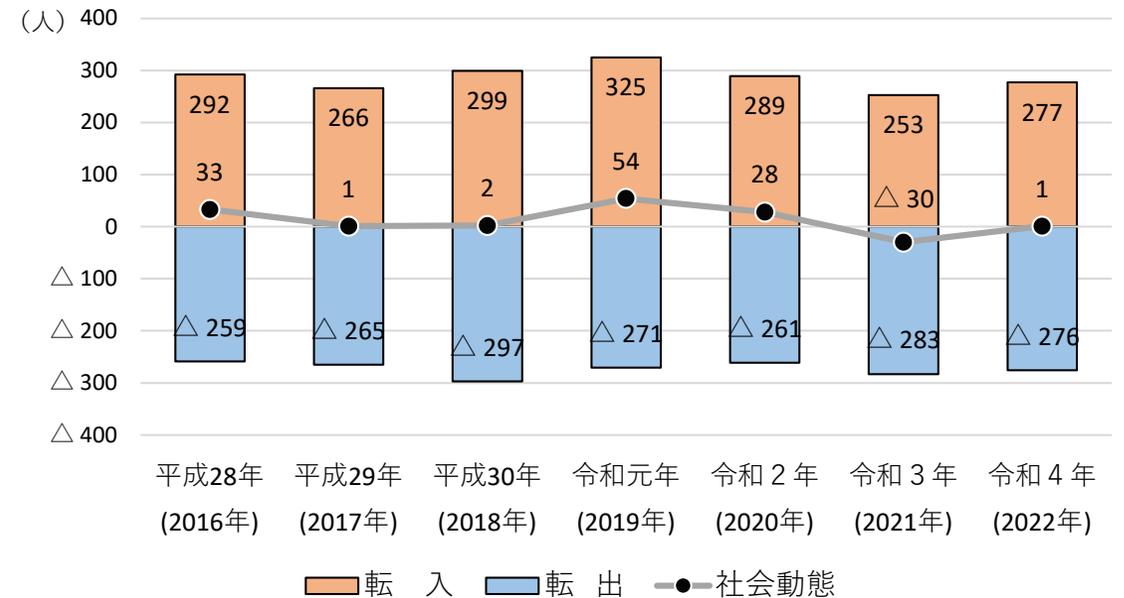
県推計人口による人口動態の推移をみると、少子高齢化に伴って令和元年～4年の出生数が減少したのに対し、令和2年以降死亡数は増加し、自然動態はマイナスを続けている。

一方、社会動態では、若干の転入超過から、令和3年(2021年)には転出超過に転じたが、令和4年には1人の社会増となっている。人口ビジョンの将来展望とは乖離のある推移をたどっている。

豊郷町の自然動態の推移



豊郷町の社会動態の推移



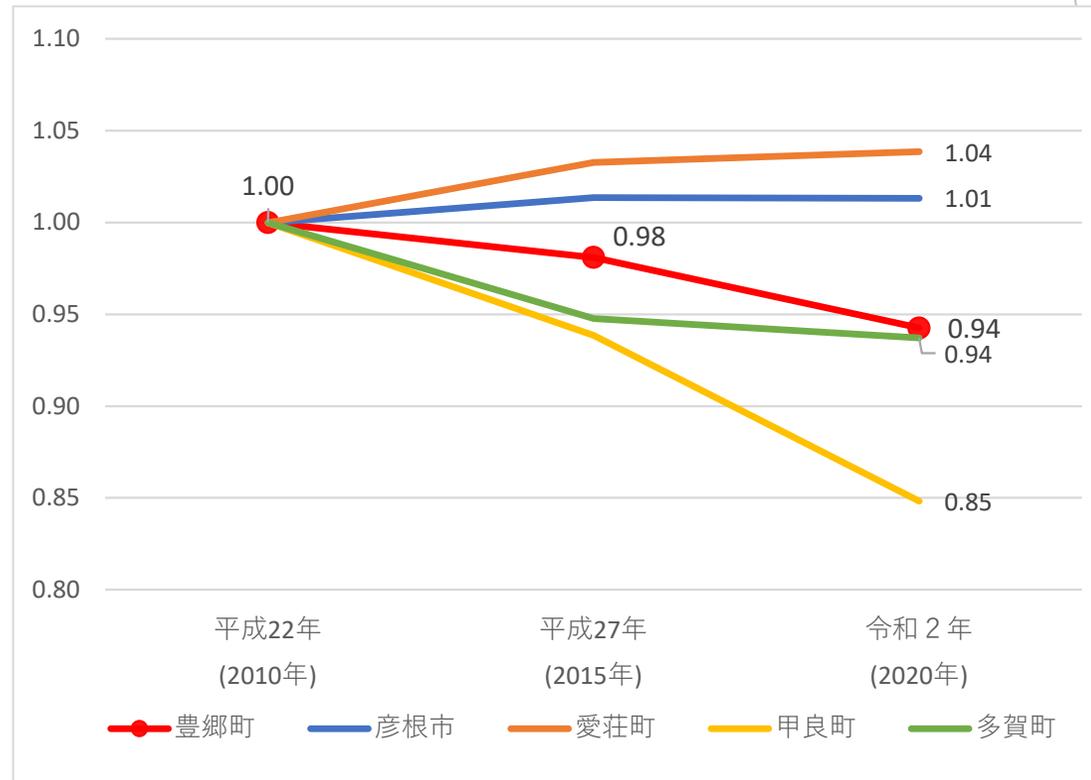
資料:滋賀県推計人口(各年10月1日現在)

# (参考)近隣自治体との比較

## 1 国勢調査人口の推移

平成22年(2010年)の国勢調査人口を1.00とした指数は、愛荘町で増加、彦根市で微増・横ばい、豊郷町、多賀町でやや減少、甲良町で大きく減少となった。

平成22年を1.00とした場合の国勢調査人口の推移



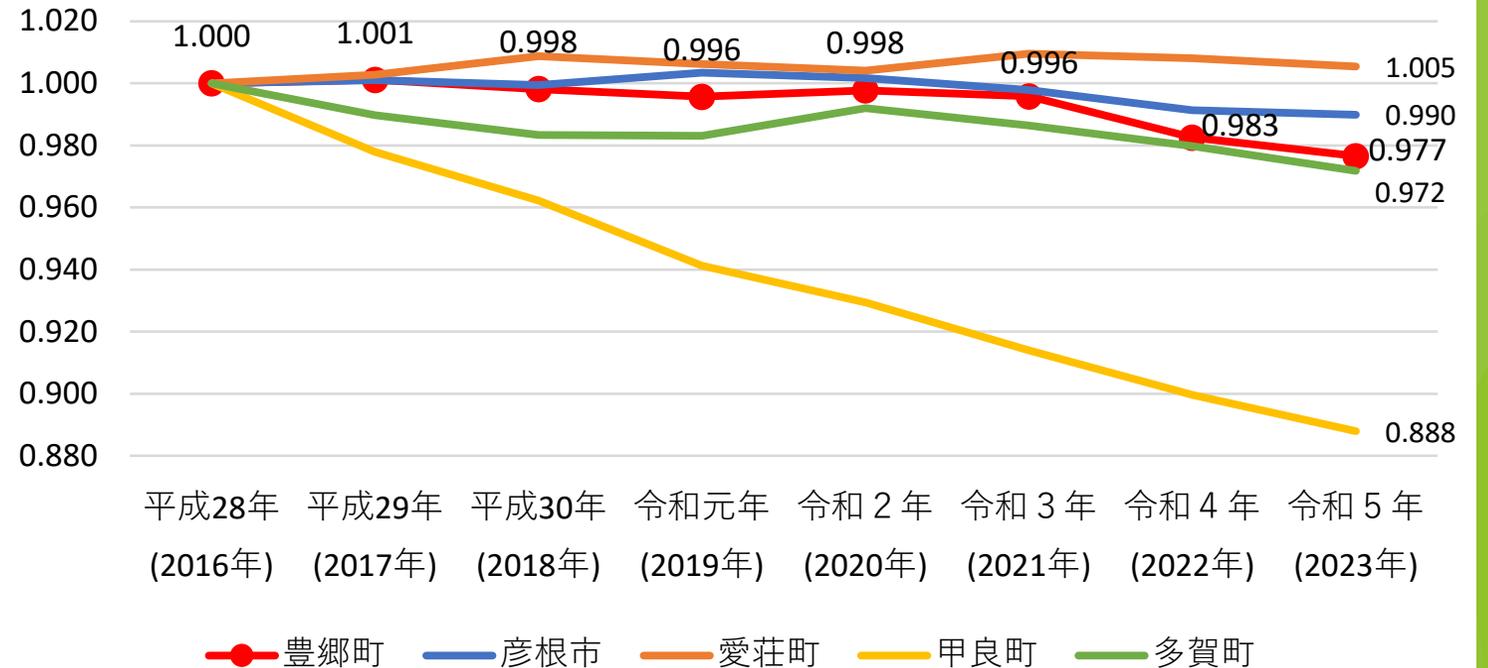
資料:国勢調査

# (参考)近隣自治体との比較

## 2 住民基本台帳人口の推移

平成28年(2016年)の住民基本台帳人口を1.000とした指数は、愛荘町で増加、豊郷町、彦根市、多賀町でやや減少、甲良町で大きく減少となった。

平成28年を1.000とした場合の住民基本台帳人口の推移

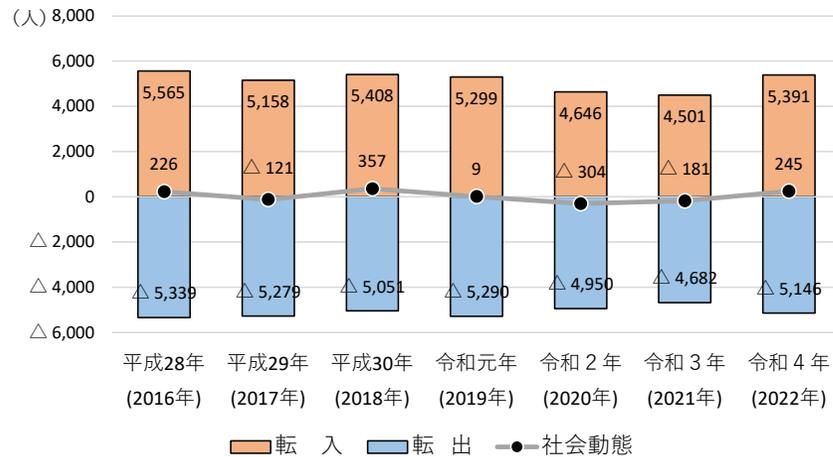
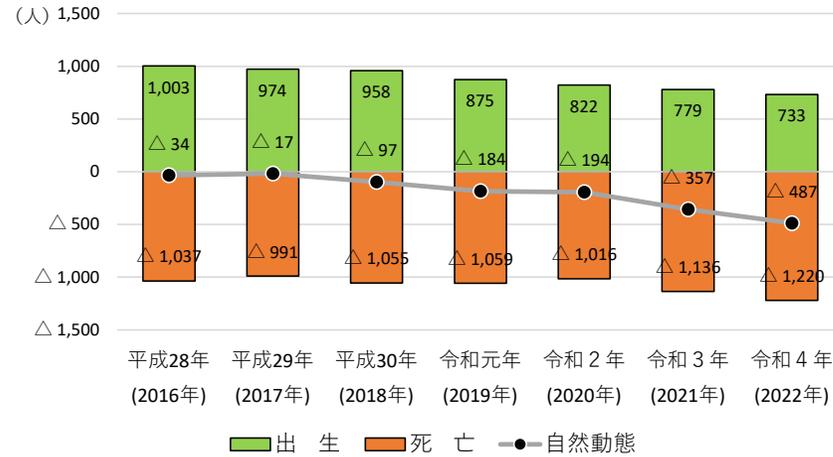


資料:滋賀県統計書(各年1月1日現在)

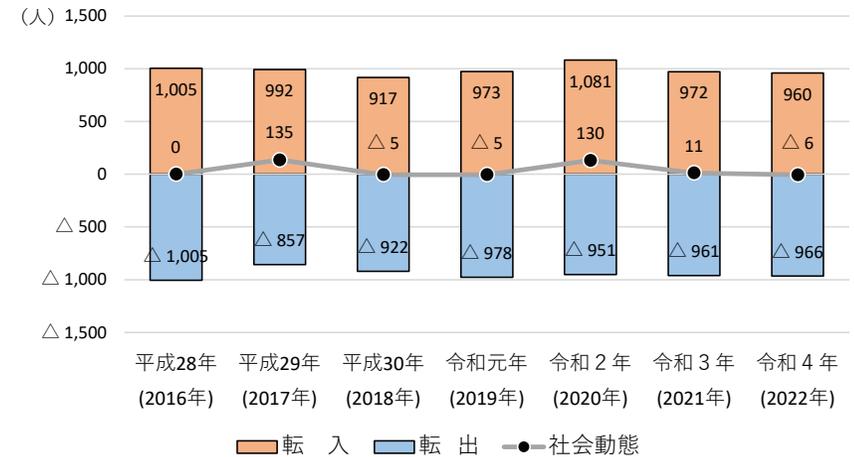
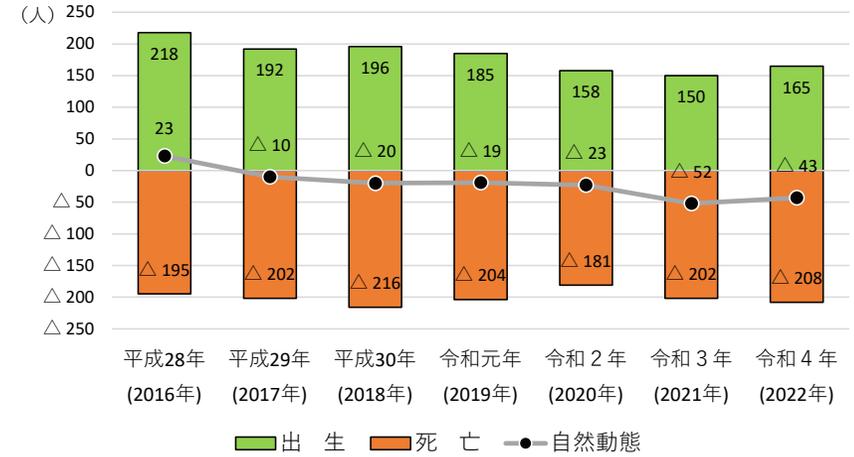
# (参考)近隣自治体との比較

## 3 人口動態の推移

### 彦根市



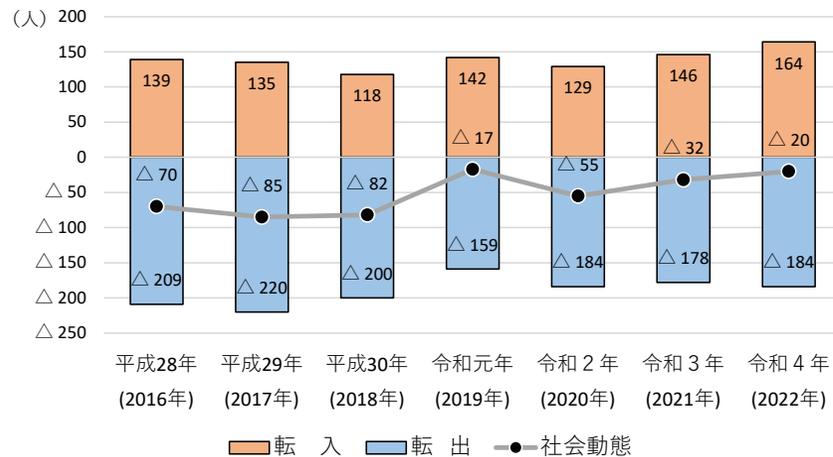
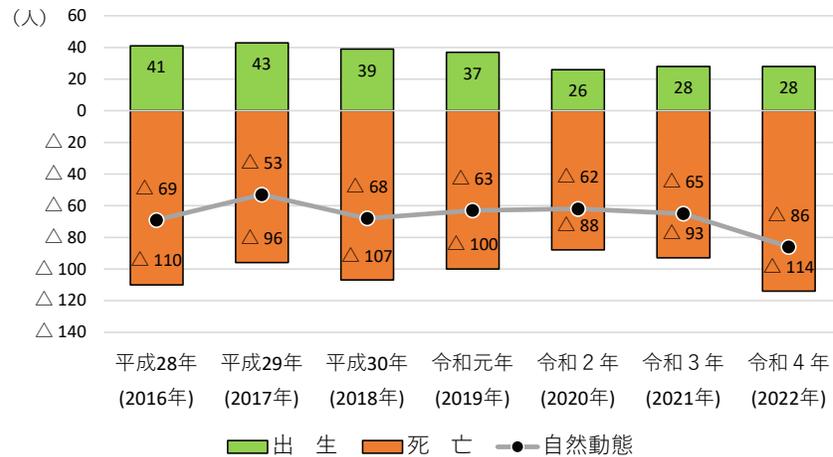
### 愛荘町



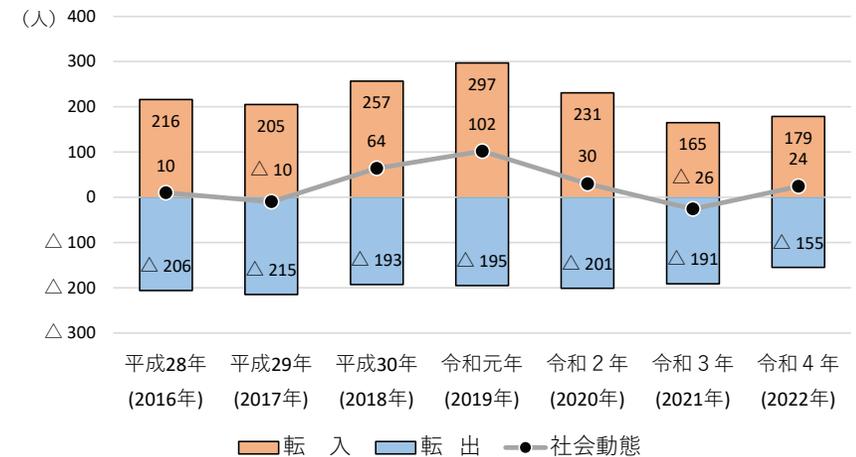
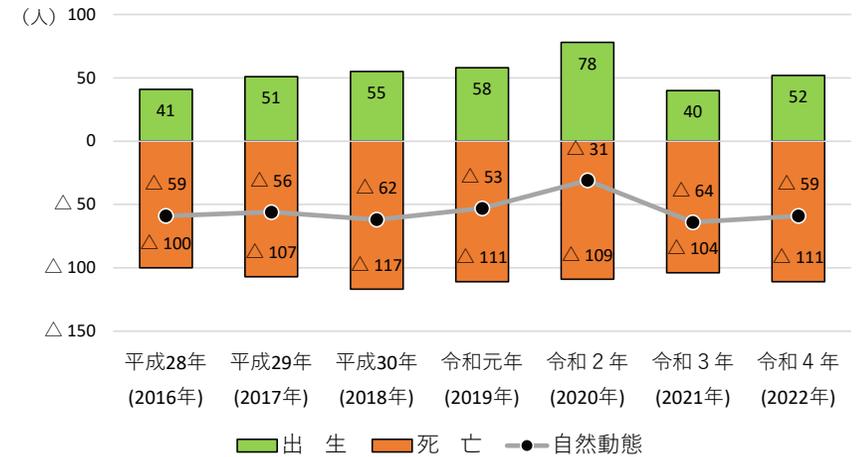
資料:滋賀県統計書(各年10月1日現在)

# (参考)近隣自治体との比較

## 甲良町



## 多賀町



## Ⅱ 第5次総合計画の中間評価

### ■ 基本目標1 子育て環境の強みアップ 〈1. 子育ての環境づくり 重点項目〉

第5次総合計画における重要業績評価指標(KPI) ※未達成項目の進捗状況について、R5実績値が基準値より良くなっていれば(↑)、悪くなっていれば(↓)、変わらなければ(→)としています。

名称	H30(基準値)	R1	R2	R3	R4	R5	目標値(R10)	担当課
子育てしやすいと感じる人の割合の増加	就学前児童 64.1%		令和2年3月策定の子ども・子育て陽だまりプランより <b>90.9%</b>	令和2年3月策定の子ども・子育て陽だまりプランより <b>90.9%</b>	令和2年3月策定の子ども・子育て陽だまりプランより <b>90.9%</b>	令和2年3月策定の子ども・子育て陽だまりプランより <b>90.9%</b>	70%以上	学校教育課
<b>進捗状況</b>		今後の位置付け		新たな指標		考え方・方向性		
<b>達成</b>		今後も継続		指標の変更なし		指標達成の維持を目指す。		
名称	H30(基準値)	R1	R2	R3	R4	R5	目標値(R10)	担当課
待機児童発生の抑制	1人	4人	<b>0人</b>	5人	<b>0人</b>	7人(R5.4.1現在)	0人	学校教育課
<b>進捗状況</b>		今後の位置付け		新たな指標		考え方・方向性		
<b>未達成(↓)</b>		今後も継続		指標の変更なし		保育士確保に抜本的な対策が必要。		

#### KPIの進捗状況

重点項目である「1. 子育ての環境づくり」のKPIについて、「子育てしやすいと感じる人の割合の増加」は目標値を達成し、また「待機児童発生の抑制」についても、令和2年と令和4年には待機児童0人と目標を達成したが、令和5年4月1日現在では7人の待機児童が発生している。

#### 5年間の取り組みと今後について

子育て世代の経済的負担の軽減および若者の定住促進を目的に、小中学校入学助成事業、給食費無償化、修学旅行費補助、18歳までの医療費無料など、子育て施策の充実に努めてきた。今後は物価高騰に対応するため入学助成金の支給額を増額する。保育士確保に抜本的な対策が必要であり、人材確保のため、民間保育所への補助等を充実させているが、厳しい状況が続いている。引き続き、人的環境の確保を進めていく。

## Ⅱ 第5次総合計画の中間評価

### ■基本目標1 子育て環境の強みアップ 〈2. 子どもの教育環境の充実〉

#### 第5次総合計画における重要業績評価指標(KPI)

名称	H30(基準値)	R1	R2	R3	R4	R5	目標値(R10)	担当課
子育てしやすいと感じる人の割合の増加	小学生児童 65.7%		令和2年3月策定の子ども・子育て陽だまりプランより <b>84.0%</b>	令和2年3月策定の子ども・子育て陽だまりプランより <b>84.0%</b>	令和2年3月策定の子ども・子育て陽だまりプランより <b>84.0%</b>	令和2年3月策定の子ども・子育て陽だまりプランより <b>84.0%</b>	70%以上	学校教育課
<b>進捗状況</b>		今後の位置付け		新たな指標		考え方・方向性		
<b>達成</b>		今後も継続		指標の変更なし		指標達成の維持を目指す。		
名称	H30(基準値)	R1	R2	R3	R4	R5	目標値(R10)	担当課
児童の1か月の読書量(1人あたり)	6.1冊	3.9冊	*令和2年度は調査中止 コロナの影響で学校が休校したため	6.9冊	5.2冊	<b>8.6冊</b>	8冊	社会教育課
<b>進捗状況</b>		今後の位置付け		新たな指標		考え方・方向性		
<b>達成</b>		今後も継続		指標の変更なし		児童が年度ごとに入れ替わり、読書量が多い年と少ない年でばらつきが予測できない。また、児童数が減少傾向であり先が読めないため、目標値は据え置く。		

#### KPIの進捗状況

「2. 子どもの教育環境の充実」のKPIについて、「子育てしやすいと感じる人の割合の増加」は目標値を達成しており、「児童の1か月の読書量(1人あたり)」についても増減を繰り返しつつ、令和5年に目標を達成している。

#### 5年間の取り組みと今後について

令和元年度公立学校等長寿命化計画を策定し、各保育教育施設の施設整備を進めている。令和3年度より体育館の照明のLED化や空調設備の改修を進めており、今後も計画的に施設整備を進めていく。小中学校にGIGAスクール構想で一人1台のPCを購入し、併せて電子黒板等を導入し情報教育の環境整備をしている。

## Ⅱ 第5次総合計画の中間評価

### ■ 基本目標1 子育て環境の強みアップ 〈3. 地域における学習環境の充実〉

第5次総合計画における重要業績評価指標(KPI)

名称	H30(基準値)	R1	R2	R3	R4	R5	目標値(R10)	担当課
生涯学習計画の体系策定	未策定	未策定	未策定	未策定	未策定	未策定	策定	社会教育課
進捗状況		今後の位置付け		新たな指標		考え方・方向性		
未達成(→)		今後も継続		指標の変更なし		近隣の状況を調査中。		

名称	H30(基準値)	R1	R2	R3	R4	R5	目標値(R10)	担当課
図書館でのイベント開催件数と参加者数	33件 330人	43件 463人	10件 140人	23件 241人	33件 263人	44件 487人	35件 400人	社会教育課
進捗状況		今後の位置付け		新たな指標		考え方・方向性		
達成		今後も継続		指標の変更なし		図書館の多世代来館者増加による読書習慣の啓発につなげる。天候や災害により件数や参加者が左右されるため、目標値は据え置く。		

名称	H30(基準値)	R1	R2	R3	R4	R5	目標値(R10)	担当課
図書館の1人あたりの貸出冊数の増加	5.15冊	4.65冊	3.64冊	4.14冊	3.81冊	4.09冊	7冊	社会教育課
進捗状況		今後の位置付け		新たな指標		考え方・方向性		
未達成(↘)		今後も継続		指標の変更なし		伸び悩んでいる状況であり、目標値に近づけるよう読書習慣の啓発等に継続的に取り組む。		

#### KPIの進捗状況

「3. 地域における学習環境の充実」のKPIについて、「生涯学習計画の体系策定」は未策定、「図書館でのイベント開催件数と参加者数」は令和元年に目標値を達成したものの、コロナ禍を経て減少、その後令和5年において再び目標値を達成している。また「図書館の1人あたりの貸出冊数の増加」については、基準値である平成30年から増減しながらやや減少している。

#### 5年間の取り組みと今後について

コロナ禍で自主事業の実施が難しい状況であったが、今後は社会教育および生涯学習の機会として社会教育大会、地域カレッジを開催し、開催内容を創意工夫していきたい。

## Ⅱ 第5次総合計画の中間評価

### ■基本目標1 子育て環境の強みアップ 〈4. まちの文化の保全と育成〉

#### 第5次総合計画における重要業績評価指標(KPI)

名称	H30(基準値)	R1	R2	R3	R4	R5	目標値(R10)	担当課
文化ホールを使用した自主事業の増加	7回 約800人	10回 1,273人	0回 0人	3回 360人	7回 379人	10回 1,281人	10回 約1,000人	社会教育課
進捗状況		今後の位置付け		新たな指標		考え方・方向性		
達成		今後も継続		指標の変更なし		天候や災害により件数や参加者が左右されるため、目標値は据え置く。		
名称	H30(基準値)	R1	R2	R3	R4	R5	目標値(R10)	担当課
町内校園への江州音頭指導の充実	4校園 8回	-	1校 4回	1校 2回	3校 6回	2校園 9回	6校園 10回	社会教育課
進捗状況		今後の位置付け		新たな指標		考え方・方向性		
未達成(→)		今後も継続		指標の変更なし		崇徳保育園、豊日中学校には指導に行っていない。校園で取り組んでもらえるよう声かけを続ける。		

#### KPIの進捗状況

「4. まちの文化の保全と育成」のKPIについて、「文化ホールを使用した自主事業の増加」は、令和元年に目標値を達成したものの、コロナ禍となる令和2年の開催数は0回となった。その後回復し、令和5年には再び目標値を達成している。「町内校園への江州音頭指導の充実」についても、コロナ禍を経て令和4年以降増加しているものの、目標は未達成である。

#### 5年間の取り組みと今後について

町史編纂事業に取り組み、豊郷町の歴史を後世に継承するため調査、資料の収集を行った。今後は町史の執筆作業に取り組む。  
江州音頭保存普及のため、保存活動の充実や、各字の江州音頭の取り組みへの支援をしている。コロナ禍で実施できなかった江州音頭夏祭りへの支援をし、郷土の文化の継承を図っていく。

## Ⅱ 第5次総合計画の中間評価

### ■基本目標2 全世代参加の地域共生力アップ 〈1. 多世代コミュニティの創造と地域福祉の推進 重点項目〉

第5次総合計画における重要業績評価指標(KPI)

名称	H30(基準値)	R1	R2	R3	R4	R5	目標値(R10)	担当課
あったかホーム等多世代ふれあいの場の増加	4箇所	3箇所	3箇所	3箇所	3箇所	3箇所	5箇所	保健福祉課
進捗状況		今後の位置付け		新たな指標		考え方・方向性		
未達成(↘)		今後も継続		指標の変更なし		運営法人と協力して増設に向けて検討していく。		
名称	H30(基準値)	R1	R2	R3	R4	R5	目標値(R10)	担当課
空き家・空き地の活用(件数)	—	0件	0件	1件	1件	3件	5件	企画振興課
進捗状況		今後の位置付け		新たな指標		考え方・方向性		
未達成(↗)		今後も継続		指標の変更なし		件数は少ないが認知は少しずつ上がっている。		
名称	H30(基準値)	R1	R2	R3	R4	R5	目標値(R10)	担当課
こども食堂の開設・運営支援	1箇所	2箇所	2箇所	2箇所	2箇所	2箇所	2箇所	保健福祉課
進捗状況		今後の位置付け		新たな指標		考え方・方向性		
達成		今後も継続		指標の変更なし		指標達成の維持を目指す。		

#### KPIの進捗状況

重点項目である「1. 多世代コミュニティの創造と地域福祉の推進」のKPIについて、「あったかホーム等多世代ふれあいの場の増加」は令和元年に1箇所減少し、その後3箇所を維持している。「空き家・空き地の活用(件数)」については、令和5年には3件の事例があった。「こども食堂の開設・運営支援」については、令和元年に2箇所開設し、目標を達成している。

#### 5年間の取り組みと今後について

隣保館において地域に密着した多世代の各種教室・交流会や高齢者向きの地域ふれあいサービス事業など地域福祉の向上に努めている。空き家バンクの活用により、地域の活性化を今後も目指していく。

## Ⅱ 第5次総合計画の中間評価

### ■基本目標2 全世代参加の地域共生力アップ 〈2. 全世代型地域包括ケアシステムの推進 重点項目〉

第5次総合計画における重要業績評価指標(KPI)

名称	H30(基準値)	R1	R2	R3	R4	R5	目標値(R10)	担当課
全世代型地域包括支援の体制整備	—	—	—	地域ケア会議(多職種協働会議)7回実施	地域ケア会議(多職種協働会議)7回実施	一部実施 地域ケア会議(多職種協働会議) 1回/月 年間12回 開催 (医療と介護連携) その他については個別に対応し連携	実現	医療保険課 保健福祉課 子育て支援センター
進捗状況		今後の位置付け			新たな指標		考え方・方向性	
未達成(→)		今後も継続			指標の変更なし		現状維持を保ちながら連携していく。	

#### KPIの進捗状況

重点項目である「2. 全世代型地域包括ケアシステムの推進」のKPIである「全世代型地域包括支援の体制整備」については、定期的な地域ケア会議(多職種連携会議)を実施するとともに、その他個別に連携・対応を進めている。

#### 5年間の取り組みと今後について

平成26年度より地域ケア会議(多職種協働会議)を実施しているが、全世代型包括ケアシステムの推進は実現していない。

引き続き、制度の枠組みにとらわれず、あらゆる世代・属性の人が安心して地域で生活を続けられる全世代型包括ケアシステムについて、本町にふさわしい体制の構築に向けて、検討を進めていく。

## Ⅱ 第5次総合計画の中間評価

### ■ 基本目標2 全世代参加の地域共生力アップ 〈3. 健康づくりとスポーツの推進〉

第5次総合計画における重要業績評価指標(KPI)

名称	H30(基準値)	R1	R2	R3	R4	R5	目標値(R10)	担当課
特定健診受診率の向上	40.9% (法定報告前数値) 46.6% (法定報告)	-	35.9% 法定報告値	40.2% 法定報告値	43.0% 法定報告値	単純数値415人 (受診券作成件数 1,140件、受診率 36.4%)	60.0%	医療保険課
進捗状況		今後の位置付け		新たな指標		考え方・方向性		
未達成(↘)		指標の変更		(目標値の変更)59.0% (令和6年3月に第3期豊郷町国民健康 保険保健事業実施計画(データヘルス 計)第4期豊郷町国民健康保険特定健康 診査等実施計画を策定し、指標の見直し を行った)		女性の受診率が大きく減少。男性では、40・50歳代の受診 率が向上したが、70歳代の受診率が大きく減少(後期高齢 者医療保険への移行が関係している可能性もあり。)新型コ ロナウイルス感染症拡大前の受診率まで回復していない。 未受診者へは、いくつかの行動パターンに応じて通知を行い 受診勧奨を図っているが、受診に繋がっていない可能性が あるため、可能な限り分析を行っていく。		
名称	H30(基準値)	R1	R2	R3	R4	R5	目標値(R10)	担当課
スポーツに親しむ住民の 割合の増加	39.8%		令和2年3月策定の 第2次スポーツ推 進計画より 52.5%(R1実施)	令和2年3月策定の 第2次スポーツ推 進計画より 52.5%(R1実施)	令和2年3月策定の 第2次スポーツ推 進計画より 52.5%(R1実施)	令和2年3月策定の 第2次スポーツ推 進計画より 52.5%(R1実施)	50.0%	保健体育課
進捗状況		今後の位置付け		新たな指標		考え方・方向性		
達成		今後も継続		指標の変更なし		第3次スポーツ推進計画の策定に伴いアンケート調査を実施 し、現況を把握する。		

#### KPIの進捗状況

「3. 健康づくりとスポーツの推進」のKPIについて、「特定健診受診率の向上」は令和5年現在目標達成には至っていない。「スポーツに親しむ住民の割合の増加」については、令和元年度調査において目標値を達成している。

#### 5年間の取り組みと今後について

生活習慣病の予防のため、特定健診受診率を向上すべく、平成30年度より検診料を無料化、未受診者への通知をパターン別に作成するなど工夫をしている。さらに、令和5年度には健診WEB予約システムを導入し利便性を高めた。また、令和4年度にはバンガロー跡地を整備して、多目的広場に改修し、充実整備した。今後もアザックとよさとと連携して、スポーツに親しむ環境づくりに取り組む。

## Ⅱ 第5次総合計画の中間評価

### ■基本目標2 全世代参加の地域共生力アップ 〈4. 高齢者福祉の充実〉

第5次総合計画における重要業績評価指標(KPI)

名称	H30(基準値)	R1	R2	R3	R4	R5	目標値(R10)	担当課
「いきがい協働センター」サロン年間利用の増加(回数)	40回	41回	0回	0回	0回	0回	50回	産業振興課
進捗状況	今後の位置付け		新たな指標			考え方・方向性		
未達成(↘)	指標の変更		元気力アップ教室参加人数 (担当課:医療保険課)			コロナ禍でサロンは締めており、今後実施予定もなし。施設としては、条例に基づき特産品の開発に利用している。高齢者福祉の充実については別の指標を検討する。		

#### KPIの進捗状況

「4. 高齢者福祉の充実」のKPIである「「いきがい協働センター」サロン年間利用の増加(回数)」については、コロナ禍の影響により令和2年より0回となっている。

#### 5年間の取り組みと今後について

総合計画のまちの将来像「一生青春」に向けてフレイル予防、元気アップ教室、元気アップ教室+α教室や栄養教室を実施し、高齢者が地域で自立した生活を送れるよう事業に取り組んでいる。また高齢者あつたか給食事業、地域見守り事業や在宅高齢者支援事業として燃料代の助成を図り、高齢者福祉を充実している。

## Ⅱ 第5次総合計画の中間評価

### ■基本目標2 全世代参加の地域共生力アップ 〈5. 障がい者福祉の充実〉

第5次総合計画における重要業績評価指標(KPI)

名称	H30(基準値)	R1	R2	R3	R4	R5	目標値(R10)	担当課
施設入所者の地域生活への移行	入所者数 8人	入所者数 12人	入所者数 9人	入所者数 7人	入所者数 6人	入所者数 6人	入所者数 7人	保健福祉課
進捗状況		今後の位置付け		新たな指標		考え方・方向性		
達成		指標の変更		(目標値の変更)6人		現状値の維持を目指す。		
名称	H30(基準値)	R1	R2	R3	R4	R5	目標値(R10)	担当課
地域生活支援拠点の整備	—	0箇所	1箇所	2箇所	湖東圏域で1箇所	湖東圏域で1箇所	湖東圏域で1箇所	保健福祉課
進捗状況		今後の位置付け		新たな指標		考え方・方向性		
達成		今後も継続		指標の変更なし		指標達成の維持を目指す。		
名称	H30(基準値)	R1	R2	R3	R4	R5	目標値(R10)	担当課
福祉作業所から一般就労への移行	—	0人	0人	0人	1人	4人	2人	保健福祉課
進捗状況		今後の位置付け		新たな指標		考え方・方向性		
達成		今後も継続		指標の変更なし		令和5年度は4人の方が移行されたが、例年1人あるかないかであり、目標値としては適正と考え据え置く。		
名称	H30(基準値)	R1	R2	R3	R4	R5	目標値(R10)	担当課
児童発達支援センターの設置	—	0箇所	0箇所	0箇所	0箇所	0箇所	愛知・犬上郡で1箇所	保健福祉課
進捗状況		今後の位置付け		新たな指標		考え方・方向性		
未達成(→)		今後も継続		指標の変更なし		現状は設置されていないが、今後圏域内で話し合いを持つ方向である。		

#### KPIの進捗状況

「5. 障がい者福祉の充実」のKPIについて、「児童発達支援センターの設置」を除き、令和5年時点で目標を達成している。

#### 5年間の取り組みと今後について

児童発達支援センターの設置に向けて、圏域内で話し合いを行っていく。

## Ⅱ 第5次総合計画の中間評価

### ■基本目標2 全世代参加の地域共生力アップ 〈6. 医療・介護の基盤整備〉

#### 第5次総合計画における重要業績評価指標(KPI)

名称	H30(基準値)	R1	R2	R3	R4	R5	目標値(R10)	担当課
産科、小児科の維持	産科3箇所 :1病院2診療所 小児科38箇所 :3病院35診療所	—	産科2箇所 :2診療所 小児科39箇所 :3病院36診療所	産科2箇所 :2診療所 小児科38箇所 :3病院35診療所	産科2箇所 :2診療所 小児科38箇所 :3病院35診療所	産科2箇所 :2診療所 小児科38箇所 :3病院35診療所	維持	医療保険課
進捗状況		今後の位置付け		新たな指標		考え方・方向性		
未達成(→)		今後も継続		指標の変更なし		本町のみでは対策が難しい問題であり、圏域における話し合いも含め、引き続き維持を目指していく。		
名称	H30(基準値)	R1	R2	R3	R4	R5	目標値(R10)	担当課
認知症サポーターの養成	1,065人(累計)	1,296(累計)	1,561人(累計)	1,673人(累計)	1,849人(累計)	2,058人(累計)	2,000人(累計)	医療保険課
進捗状況		今後の位置付け		新たな指標		考え方・方向性		
達成		指標の変更		(目標値の変更)2,800人(累計)		当初の目標値を達成したため、新たな目標値を設定し、引き続き認知症サポーターの養成に努める。		

#### KPIの進捗状況

「6. 医療・介護の基盤整備」のKPIについて、「産科、小児科の維持」は彦根市立病院で産科を行っていないため、産科の箇所数が減少している。「認知症サポーターの養成」は令和5年に目標値を達成している。

#### 5年間の取り組みと今後について

引き続き、病院を核とした地域医療体制の充実や、認知症施策の推進等を図り、誰もが安心して地域で暮らせるまちづくりを進める。

## Ⅱ 第5次総合計画の中間評価

### ■基本目標2 全世代参加の地域共生力アップ (7. 共生のまちづくり)

#### 第5次総合計画における重要業績評価指標(KPI)

名称	H30(基準値)	R1	R2	R3	R4	R5	目標値(R10)	担当課
各種審議会における女性委員の割合	33.0%	—	24.4%	23.9%	23.3%	18.9%	40~60%	人権政策課
<b>進捗状況</b>		今後の位置付け		新たな指標		考え方・方向性		
未達成(↘)		指標の変更		(目標値の変更)23.9%		事業の見直しを検討する。		
名称	H30(基準値)	R1	R2	R3	R4	R5	目標値(R10)	担当課
男女共同参画講演会の開催	—	1回	1回	コロナにより中止	1回	1回	1回/年	人権政策課
<b>進捗状況</b>		今後の位置付け		新たな指標		考え方・方向性		
達成		今後も継続		指標の変更なし		指標達成の維持を目指す。		
名称	H30(基準値)	R1	R2	R3	R4	R5	目標値(R10)	担当課
翻訳装置の導入	—	—	ポケットーク1台導入	ポケットーク1台導入	ポケットーク1台導入	ポケットーク1台導入	導入	総務課
<b>進捗状況</b>		今後の位置付け		新たな指標		考え方・方向性		
達成		今後も継続		指標の変更なし		指標達成の維持を目指す。		

#### KPIの進捗状況

「7. 共生のまちづくり」のKPIについて、「各種審議会における女性委員の割合」は減少傾向で推移し、目標から後退している。「男女共同参画講演会の開催」、「翻訳装置の導入」については目標の達成を維持している。

#### 5年間の取り組みと今後について

人権教育推進協議会や人権擁護委員等の活動により人権教育、人権啓発の推進に努めてきた。多文化共生の視点から各種教室や交流する場を設けている。今後は男女共同参画を推進するためにどのような事業が効果的か、住民の要望も踏まえて検討するため、事業対象者が参加しやすい環境をつくる。また、各種審議会における女性委員の割合の増加に向けて取り組む。

## Ⅱ 第5次総合計画の中間評価

### ■基本目標3 暮らしの安全・安心力アップ 〈1. 道路交通・公共交通網の整備 重点項目〉

#### 第5次総合計画における重要業績評価指標(KPI)

名称	H30(基準値)	R1	R2	R3	R4	R5	目標値(R10)	担当課
歩道の設置	4,084m	—	0m 詳細設計1,900m が完了	0m 詳細設計1,900m が完了	0m 用地測量完了	測量。設計、用地測 量完了	6,816m	地域整備課
進捗状況		今後の位置付け		新たな指標		考え方・方向性		
未達成(↘)		指標の変更		(目標値の変更)5,985m		令和5年から用地買収を計画していたが、地籍調査の認証時期と重複したことから、繰越した。		
名称	H30(基準値)	R1	R2	R3	R4	R5	目標値(R10)	担当課
「愛のリタクシー」の乗 合率の向上	1.4人/便	1.56人/便	1.45人/便	1.39人/便	1.51人/便	1.53人/便	1.8人/便	企画振興課
進捗状況		今後の位置付け		新たな指標		考え方・方向性		
未達成(↗)		今後も継続		指標の変更なし		近江鉄道の上下分離方式が令和6年度より始まる。公共交通の維持に向けて、今後も取組を進める。		

#### KPIの進捗状況

重点項目である「1. 道路交通・公共交通網の整備」のKPIについて、「歩道の設置」は吉田秦荘線および吉田愛知川線について、令和4年に歩道設置のための用地測量を完了している。「愛のリタクシー」の乗合率の向上については、令和5年に1.53人とやや増加している。

#### 5年間の取り組みと今後について

令和4年度に歌詰橋整備工事を完了した。引き続き護床・護岸改修工事を実施する学校・道路他関係者が参加する通学路安全プロジェクトにより通学路の安全確保に努めている。高齢化が進む中、すまいるタウンバス、デマンド車の維持向上を図るとともに、愛のリタクシーの利便性の向上を図る。近江鉄道の存続が決定し、公共交通の維持を図っていく。

## Ⅱ 第5次総合計画の中間評価

### ■基本目標3 暮らしの安全・安心力アップ 〈2. 生活環境の整備〉

第5次総合計画における重要業績評価指標(KPI)

名称	H30(基準値)	R1	R2	R3	R4	R5	目標値(R10)	担当課
改良住宅の譲渡率の向上	40%	30.43%	33.6%	34.8%	35.33%	37.5%	100%に近づける	人権政策課
進捗状況	今後の位置付け		新たな指標		考え方・方向性			
未達成(ノ)	今後も継続		基本方針の見直し		基準値算出時から譲渡対象が変更されているため、基準値より減少にみえるが、率は上がっているため未達成(ノ)とする。今後いかに譲渡率を向上させるかが課題。			
名称	H30(基準値)	R1	R2	R3	R4	R5	目標値(R10)	担当課
浄水場と主要管路の耐震化	—	実施	実施	実施	実施	9.81%	実施	上下水道課
進捗状況	今後の位置付け		新たな指標		考え方・方向性			
達成	指標の変更		(目標値の変更)10.0%		目標値について、実施の有無ではなく耐震化を完了した割合に変更し、目標達成に向けて取り組みを進める。			
名称	H30(基準値)	R1	R2	R3	R4	R5	目標値(R10)	担当課
水洗化率の向上	89.1%	90.1%	91.0%	93.2%	93.6%	94.5%	94.0%	上下水道課
進捗状況	今後の位置付け		新たな指標		考え方・方向性			
達成	指標の変更		(目標値の変更)95.0%		当初の目標値を達成したため、新たな目標値を設定し、引き続き町内の水洗化率の向上に努める。			
名称	H30(基準値)	R1	R2	R3	R4	R5	目標値(R10)	担当課
地籍調査の推進	実施区域(字)2	3	4	5	5	5	5	地域整備課
進捗状況	今後の位置付け		新たな指標		考え方・方向性			
達成	指標の変更		(目標値の変更)6字		目標値に1字追加し、更なる地籍調査の推進を図る。			

#### KPIの進捗状況

「2. 生活環境の整備」のKPIについて、「改良住宅の譲渡率の向上」、は目標に向けて前進している。「浄水場と主要管路の耐震化」、「水洗化率の向上」「地籍調査の推進」については、目標を達成している。

#### 5年間の取り組みと今後について

令和4年度に公営住宅等マスタープラン、公営住宅等長寿命化計画を策定し、公営住宅等の維持・管理。運営等の将来方針を示した。上下水道関係の施設は計画的に整備していく。地籍調査も毎年実施しており、今後も継続して推進していく。

## Ⅱ 第5次総合計画の中間評価

### ■基本目標3 暮らしの安全・安心力アップ 〈3. 環境保全の推進〉

第5次総合計画における重要業績評価指標(KPI)

名称	H30(基準値)	R1	R2	R3	R4	R5	目標値(R10)	担当課
緑のカーテンの設置促進	協力事業所7件 一般家庭0戸	6件 1戸	6件 1戸	6件 1戸	3件 0戸	5件 0戸	15件 160戸	住民生活課
進捗状況		今後の位置付け		新たな指標		考え方・方向性		
未達成(↘)		指標の変更		(目標値の変更)協力事業所5件		今般の猛暑に伴い、一般家庭での緑のカーテンの実施は非常に困難(たっぷりの水やりが大変。昨今は1日でも放置すると枯れてしまう。)であり、今実施いただいている事業所数の維持に努める。一般家庭においては、次年度も継続した取り組みをするが、これまで同様の指標とすることをとりやめる。		

#### KPIの進捗状況

「3. 環境保全の推進」のKPIである「緑のカーテンの設置促進」は減少し、一般家庭においては令和4年以降0戸となっている。

#### 5年間の取り組みと今後について

住民企業行政機関団体が参加する宇曾川クリーン作戦は、コロナ禍では一斉に集う従来の方法ではなく、各字で分散して取り組んでいただくなど工夫をした。

緑のカーテンの設置促進については、現在実施いただいている事業所数の維持に努めることとし、一般家庭においては今後も設置促進に向けた取組を継続する。

## Ⅱ 第5次総合計画の中間評価

### ■基本目標3 暮らしの安全・安心力アップ 〈4. 循環型社会の形成〉

第5次総合計画における重要業績評価指標(KPI)

名称	H30(基準値)	R1	R2	R3	R4	R5	目標値(R10)	担当課
生ごみ堆肥化事業会員の増加	333人	341人	394人	398人	410人	435人	400人	住民生活課
進捗状況		今後の位置付け		新たな指標		考え方・方向性		
達成		指標の変更		(目標値の変更)500人		当初の目標値を達成したため、新たな目標値を設定し、引き続き生ごみ堆肥化事業会員の増加に努める。		

名称	H30(基準値)	R1	R2	R3	R4	R5	目標値(R10)	担当課
公用車へのハイブリッド車・電気自動車等の導入	3台	3台	3台	3台	3台	3台	6台	総務課
進捗状況		今後の位置付け		新たな指標		考え方・方向性		
未達成(→)		今後も継続		指標の変更なし		目標達成に向けて継続して取り組む。		

#### KPIの進捗状況

「4. 循環型社会の形成」のKPIについて、「生ごみ堆肥化事業会員の増加」は令和4年に400人を超え、目標を達成している。「公用車へのハイブリッド車・電気自動車等の導入」については、平成30年基準値である3台から変わっていない。

#### 5年間の取り組みと今後について

ごみの減量化、再資源化を目的に生ごみ堆肥化事業をしているが、生ごみ処理機の故障により 令和4年度に1台更新した。今後老朽化している1台の更新も必要である。生ごみ堆肥化事業会員は増加しているが、新興住宅地の住民に対して啓発活動をしていき、会員増加を推進していく。令和2年度より布団、カーペット、畳、マットレスなどの有料回収、令和5年度より粗大ごみの有料回収を始め、住民の利便性の向上を図った。

## Ⅱ 第5次総合計画の中間評価

### ■基本目標3 暮らしの安全・安心力アップ 〈5. 防災・減災対策の充実〉

#### 第5次総合計画における重要業績評価指標(KPI)

名称	H30(基準値)	R1	R2	R3	R4	R5	目標値(R10)	担当課
防災訓練参加者数の増加	1,885人	1,543人	コロナにより中止	コロナにより中止	コロナにより中止	1,280人	2,572人	総務課
進捗状況	今後の位置付け		新たな指標		考え方・方向性			
未達成(↘)	今後も継続		指標の変更なし		園児・児童の参加増員や町内企業と連携した訓練を計画することで目標達成を目指したが目標値には届かず、引き続き令和10年度の目標値達成に向けて取り組んでいく。			
名称	H30(基準値)	R1	R2	R3	R4	R5	目標値(R10)	担当課
自治会での防災士資格取得者数の増加	0人	3人	3人	0人	3人	4人	16人	総務課
進捗状況	今後の位置付け		新たな指標		考え方・方向性			
未達成(↗)	今後も継続		指標の変更なし		周知に力を入れることで、徐々に区長や住民からの問い合わせは増加しており、引き続き令和10年度の目標値達成に向けて取り組んでいく。			

#### KPIの進捗状況

「5. 防災・減災対策の充実」のKPIについて、「防災訓練参加者数の増加」、「自治会での防災士資格取得者数の増加」ともにコロナ禍の影響を受けたが、令和5年にはともに増加している。

#### 5年間の取り組みと今後について

拠点避難所(豊郷・日栄小学校、豊日中学校、豊郷スポーツ公園、豊栄のさと)に防災関連備品を備蓄する防災倉庫を設置した。また令和4年度にアキレス(株)と災害時の資機材、物資の供給に関する協定を結び防災対策を充実させた。更に令和5年度アキレス(株)に防災訓練に参画いただくなど引き続き取り組みを強化していく。防災士資格所得の補助金を設けており、地域の自主防災意識を向上していく。

## Ⅱ 第5次総合計画の中間評価

### ■基本目標3 暮らしの安全・安心力アップ 〈6. 地域安全対策の充実〉

第5次総合計画における重要業績評価指標(KPI)

名称	H30(基準値)	R1	R2	R3	R4	R5	目標値(R10)	担当課
交通事故発生件数の減少	38件	20件	17件	35件	8件	17件	半減(19件以下)	総務課
進捗状況		今後の位置付け		新たな指標		考え方・方向性		
達成		今後も継続		指標の変更なし		指標達成の維持を目指す。		
名称	H30(基準値)	R1	R2	R3	R4	R5	目標値(R10)	担当課
犯罪発生件数の減少	98件	40件	67件	53件	58件	71件	半減(49件以下)	総務課
進捗状況		今後の位置付け		新たな指標		考え方・方向性		
未達成(ノ)		今後も継続		指標の変更なし		警察や関係機関との連携により、引き続き令和10年度の目標値達成に向けて取り組んでいく。		

#### KPIの進捗状況

「6. 地域安全対策の充実」のKPIについて、「交通事故発生件数の減少」は、令和2年、令和4年、令和5年において平成30年基準値以下となり、目標を達成している。「犯罪発生件数の減少」は、令和4年において平成30年基準値と比較すると減少しているが、年によって増減がある。

#### 5年間の取り組みと今後について

交通指導員・交通シルバーキャラバン隊による交通安全啓発活動を実施している。防犯推進事業として字管理の防犯灯設置の支援をしており、今後とも引き続き実施していく。さらに、令和6年度からは新たに防犯カメラ設置事業補助金交付要綱を制定し、自治会の防犯カメラ設置を支援することで、より一層地域の安全安心なまちづくりの取組を進めていく。

## Ⅱ 第5次総合計画の中間評価

### ■基本目標4 まちの魅力と活力アップ 〈1. 農業の振興〉

第5次総合計画における重要業績評価指標(KPI)

名称	H30(基準値)	R1	R2	R3	R4	R5	目標値(R10)	担当課
農業の担い手数	21人	18人	21人	21人	17人	16人	25人	産業振興課
進捗状況		今後の位置付け		新たな指標		考え方・方向性		
未達成(↘)		指標の変更		(目標値の変更)16人		担い手は減少傾向であり、今後個人の認定農家は高齢化により減少する可能性が大きい。 当初の目標を達成することは難しく、現状維持が望ましい。		
名称	H30(基準値)	R1	R2	R3	R4	R5	目標値(R10)	担当課
担い手への農地の集積(集積率)	64%	68%	67%	68%	69%	78%	75%	産業振興課
進捗状況		今後の位置付け		新たな指標		考え方・方向性		
達成		今後も継続		指標の変更なし		滋賀県の農地集積率の目標(令和12年度)が75%であることから、指標達成の維持を目指す。		
名称	H30(基準値)	R1	R2	R3	R4	R5	目標値(R10)	担当課
とよ坊かぼちゃん生産の増加	170a	—	141a	154.3a	158.3a	143.7a	170a	産業振興課
進捗状況		今後の位置付け		新たな指標		考え方・方向性		
未達成(↘)		今後も継続		指標の変更なし		これまで携わっていただいていた生産者が減少傾向であり、新たに生産者を開発する必要がある。		

## Ⅱ 第5次総合計画の中間評価

### ■基本目標4 まちの魅力と活力アップ 〈1. 農業の振興〉

第5次総合計画における重要業績評価指標(KPI)

名称	H30(基準値)	R1	R2	R3	R4	R5	目標値(R10)	担当課
野菜出荷額の増加	2,500万円	2,500万円	2,500万円	2,500万円	2,976万円	2,976万円	3,500万円	産業振興課
進捗状況		今後の位置付け		新たな指標		考え方・方向性		
未達成(↗)		今後も継続		指標の変更なし		目標達成に向けて継続して取り組む。		
名称	H30(基準値)	R1	R2	R3	R4	R5	目標値(R10)	担当課
こだわり米づくりの推進	148ha	—	146ha	146ha	140ha	139ha	165ha	産業振興課
進捗状況		今後の位置付け		新たな指標		考え方・方向性		
未達成(↘)		指標の変更		(目標値の変更)140ha		水稲の面積は減少傾向にあるため、現状維持が望ましい。		

#### KPIの進捗状況

「1. 農業の振興」のKPIについて、「担い手への農地の集積(集積率)」は令和5年に達成、「野菜出荷額の増加」は、増加傾向で推移しており、目標に向けて前進している。一方「農業の担い手数」、「とよ坊かぼちゃん生産の増加」、「こだわり米づくりの推進」は、ともに令和5年において基準値より減少している。

#### 5年間の取り組みと今後について

担い手の農地の集積化は、ある程度進んだので、今後は農地の集約化に取り組み、農作業の効率化を図る。引き続き、とよ坊かぼちゃんをはじめとする本町の特色ある農産物生産を推進するとともに、担い手の確保に努めるなど、農業の振興を図る。

## Ⅱ 第5次総合計画の中間評価

### ■基本目標4 まちの魅力と活力アップ 〈2. 観光の振興〉

第5次総合計画における重要業績評価指標(KPI)

名称	H30(基準値)	R1	R2	R3	R4	R5	目標値(R10)	担当課
観光入込客数の増加	16万人	17.65万人	4万人	4.1万人	9.3万人	12.7万人	20万人	産業振興課
進捗状況		今後の位置付け		新たな指標		考え方・方向性		
未達成(↓)		今後も継続		指標の変更なし		コロナ禍において観光入込客数は減少していたが、令和4年以降増加傾向にある。引き続き、目標達成に向けて取り組む。		

名称	H30(基準値)	R1	R2	R3	R4	R5	目標値(R10)	担当課
花街道づくりに参加する住民・企業の数	—	—	1件/年	—	0件/年	—	10件/年	産業振興課 企画振興課
進捗状況		今後の位置付け		新たな指標		考え方・方向性		
未達成(↓)		指標の変更 施策の中止		社会教育課で実施する 花づくりの参加自治会数 10件		花街道づくりの取組として、企業への花の種の配布などを行っていないが、社会教育課で実施する花づくりの取組があり、その参加自治会数の維持を目指す。		

#### KPIの進捗状況

「2. 観光の振興」のKPIについて、「観光入込客数の増加」は、コロナ禍の影響により令和2年に大きく減少したが、令和4年以降増加傾向になる。「花街道づくりに参加する住民・企業の数」は、令和2年に1件、令和4年に0件となっている。

#### 5年間の取り組みと今後について

町や豊郷町観光協会による様々な趣向をこらしたイベントを実施しており、コロナ禍においては観光協会がオリジナルグッズをWEB販売するなど工夫をこらした。コロナが5類に移行後はインバウンド需要を取り込むなど、今後も一層の知名度アップに努める。

## Ⅱ 第5次総合計画の中間評価

### ■基本目標4 まちの魅力と活力アップ 〈3. 地域産業の振興と雇用対策の充実〉

#### 第5次総合計画における重要業績評価指標(KPI)

名称	H30(基準値)	R1	R2	R3	R4	R5	目標値(R10)	担当課
商品販売額の増加	156億円	－	－	－	－	－	160億円	産業振興課
進捗状況	今後の位置付け		新たな指標			考え方・方向性		
－	指標の変更		従業員数の増加 目標値(R10):3,375人 【参考】R3:3,375人 【出典】経済センサス			現在基準値と比較できる統計がなく、指標の検討が必要。		
名称	H30(基準値)	R1	R2	R3	R4	R5	目標値(R10)	担当課
起業支援件数の増加	－	－	1件	2件	0件	1件	10件	産業振興課 企画振興課
進捗状況	今後の位置付け		新たな指標			考え方・方向性		
未達成(ノ)	今後も継続		(指標の考え方の変更)10件			指標の考え方について、当初「空き家を活用したIT企業の誘致」を想定していたが、手法・様態を限定せずに、商工会における起業支援件数として、目標達成に向けて継続して取り組む。		

#### KPIの進捗状況

「3. 地域産業の振興と雇用対策の充実」のKPIについて、「起業支援件数の増加」については令和3年に2件の実績があったものの、令和4年は0件、令和5年は1件と、目標値に向けた増加傾向とはなっていない。

#### 5年間の取り組みと今後について

コロナ禍で令和3年度から5年度にはコロナ対策、物価上昇対策、地域経済対策のために豊郷町商工会に業務を一部委託し商品券事業を実施した。また、コロナ・物価上昇に関して事業者支援などを実施した。今後も商工会と連携しながら地域産業の振興を図っていく。

## Ⅱ 第5次総合計画の中間評価

### ■基本目標5 住民直結の行政力アップ 〈1. 情報共有と住民参画の推進 重点項目〉

第5次総合計画における重要業績評価指標(KPI)

名称	H30(基準値)	R1	R2	R3	R4	R5	目標値(R10)	担当課
ホームページへのアクセス件数	27万件/年	183万件/年	249万件/年	253万件/年	67万件/年	62万件/年	35万件/年	企画振興課
進捗状況	今後の位置付け		新たな指標		考え方・方向性			
達成	指標の変更		(目標値の変更)90万件/年		結ネットの登録人数を増やし、情報発信を充実させる。			

#### KPIの進捗状況

重点項目である「1. 情報共有と住民参画の推進」のKPIについて、「ホームページへのアクセス件数」はコロナ禍の始まった令和元年時点で目標を大きく上回り達成している。令和4年に減少に転じているが当初の目標値は達成している。

#### 5年間の取り組みと今後について

コロナ禍ではワクチン接種情報などの閲覧により大幅なホームページの閲覧増となり、情報発信の必要性、重要性を再認識した。令和4年度より 情報発信(電子回覧板)アプリ「結ネット」を導入し、町からのタイムリーな情報発信をはじめた。またデジタルデバイト対策として、スマホ講習会を令和3年度から実施した。今後とも広報誌、ホームページの内容充実に努め、結ネット登録者数の増加に努める。さらに、行政手続きの電子申請を拡大していく。

## Ⅱ 第5次総合計画の中間評価

### ■基本目標5 住民直結の行政力アップ 〈2. 持続可能な行政経営の推進 重点項目〉

第5次総合計画における重要業績評価指標(KPI)

名称	H30(基準値)	R1	R2	R3	R4	R5	目標値(R10)	担当課
行政評価システムの構築	—	未実施	未実施	未実施	未実施	構築済み	実現	企画振興課
進捗状況	今後の位置付け		新たな指標		考え方・方向性			
達成	今後も継続		指標の変更なし		行政評価システムと事業の振り返り、次年度以降の事業を修正するシステムの構築を進める。			
名称	H30(基準値)	R1	R2	R3	R4	R5	目標値(R10)	担当課
経常収支比率の改善	96.9%	97.5%	90.6%	84.9%	86.0%	86.4%	90%以下	総務課
進捗状況	今後の位置付け		新たな指標		考え方・方向性			
達成	今後も継続		指標の変更なし		指標達成の維持を目指す。			

#### KPIの進捗状況

重点項目である「2. 持続可能な行政経営の推進」のKPIについて、「行政評価システムの構築」は、令和5年に事務事業評価シートを作成し、経常的な運用を進める。「経常収支比率の改善」は、令和3年以降90%を下回り、目標を達成している。

#### 5年間の取り組みと今後について

令和3年度から行財政改革推進事業に取り組む中で、令和5年に事務事業評価シートの作成を行った。引き続き事務事業評価シートを管理、運用していく中で、適切かつ効果的な行政評価システムの構築を推進する。

# Ⅲ 総括

## 1 人口ビジョンについての実績評価について

○2020年の国勢調査による人口は7,132人で、人口ビジョンの推計値7,409人を277人下回り、2010年の7,566人からは434人減少しています。あわせて少子高齢化の進展が見られ、老年人口の割合は27.8%に上昇し、一方で年少人口の割合は14.5%に低下しています。

○合計特殊出生率については、2008年から2012年の1.76から、2019年には1.25、2021年には1.22と減少し、2030年までの1.83の維持および2030年以降の人口置換水準2.07への到達という将来展望から大きく乖離しています。

○性別・5歳階級別人口の変化率については、特に若年層の転出が増加し、20～40歳代で女性の人口減少が顕著となっています。

○人口動態を見ると、出生数の減少に対し死亡数は増えており、自然動態はマイナスを続け、社会動態では転出超過に転じています。

これらの実績評価を踏まえ、今後の5年間において、

若年層が地域に留まり、家庭を持ち子育てができる環境を整備することによる「若年層の定住促進と転出抑制」、出生率を高めるための具体的な施策の検討・強化することによる「出生率向上」、高齢者を含むあらゆる世代が地域で安心して暮らせる社会システムの構築を目指す「全世代型地域包括ケアシステムの推進」、地域経済を活性化させるための若者等に向けた雇用機会の創出による「地域活性化」、次世代を担う子どもたちの教育に対する投資を増やし、教育の質の向上を目指す「教育の充実」、他地域からの移住者を増やすための施策を実施・充実による「移住促進策」、といった視点による方策を重視し、人口ビジョンが設定する目標人口に近づけるような取り組みが求められます。

# Ⅲ 総括

## 2 第5次総合計画の中間評価について(KPIの進捗状況)

### ■基本目標1 子育て環境の強みアップ

全体的の半数以上の項目で目標を達成しています。今後は、物価高騰に対応するための経済的支援の強化、保育士の人材確保の取り組みの継続、教育環境整備の推進、地域文化の継承と発展に取り組めます。  
また、子育て環境の強化には、デジタルツールを活用した教育プログラムの開発やオンラインでの子育て支援サービスの提供が重要であり、国の動向等を踏まえ、それらの導入・実施について推進していきます。

### ■基本目標2 全世代参加の地域共生力アップ

全体的の半数以上の項目で目標を達成している一方、4項目で下向きとなっています。あったかホームやいきがい協働センターを活用した地域のふれあいの場については、コロナ禍の影響もあって停滞している部分も見られ、今後は、地域包括ケアシステムの推進や多世代が交流する機会の創出に重点を置き、地域共生力のさらなる向上を目指すことが重要です。  
また、全世代参加の地域共生力アップに向けては、デジタル技術を用いた地域間コミュニケーションの強化や電子申請システムの拡充が有効と考えられ、それらの導入・実施について推進していきます。

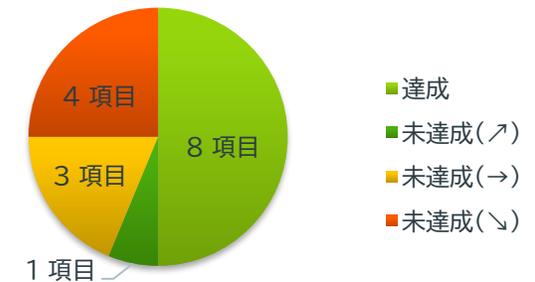
### ■基本目標3 暮らしの安全・安心力アップ

特に「生活環境の整備」「循環型社会の形成」「地域安全対策の充実」の分野で進捗(達成)が見られますが、「環境保全の推進」や「防災・減災対策の充実」においては、一部のKPIが減少傾向にあるなど課題も見られます。  
今後は、環境保全や循環型社会の形成に関する意識を高め、住民が積極的に参加しやすいプログラムの開発や啓発活動を強化することが求められます。また、防災・減災対策の充実においては、データ分析を用いた災害対策の強化等の新たな取組や、住民参加型の訓練を推進することで、より安全な生活環境を構築する必要があります。

基本目標1 子育て環境の強みアップ



基本目標2 全世代参加の地域共生力アップ



基本目標3 暮らしの安全・安心力アップ



# Ⅲ 総括

## 2 第5次総合計画の評価について

### ■基本目標4 まちの魅力と活力アップ

KPIについては、「農業の振興」で一部進捗が見られるものの、減少している項目が多く、人口減少や高齢化、コロナ禍の影響も大きく受けているものと考えられます。  
今後は、特に農業の担い手の維持・確保や特色ある農産物生産の推進及びPR、観光客の増加に向けたイベントの実施や、地域産業の振興に重点を置いた取り組みが求められます。また、コロナ禍の影響を受けた地域経済の回復対策も引き続き重要となります。これらの取組にはデジタルマーケティングを活用した観光振興や地域産業のデジタル・トランスフォーメーション(DX)※が有効と考えられ、それらの導入・実施について推進していきます。

※デジタル・トランスフォーメーション(DX):ICTの浸透が人々の生活をあらゆる面でより良い方向に変化させること

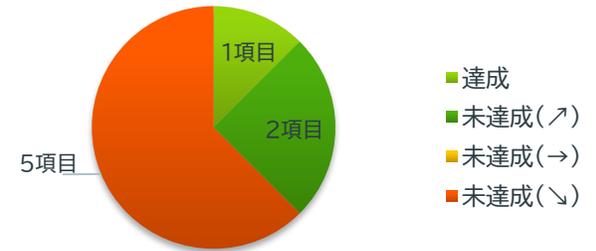
### ■基本目標5 住民直結の行政力アップ

情報共有と住民参画の推進においては、3項目のKPIすべてで目標値を達成しています。  
今後は、電子申請の拡大やデジタル化対策の強化を含め、行政サービスの利便性向上と住民との直接的な連携強化が求められます。また、国が推進するスマートシティ※の構想を踏まえたデータ駆動型の政策決定※や、住民のデジタルリテラシー向上の取り組みが重要です。

※スマートシティ:ICT等の新技術を活用しつつ、マネジメント(計画、整備、管理・運営等)の高度化により、都市や地域の抱える諸課題の解決を行い、また新たな価値を創出し続ける、持続可能な都市や地域

※データ駆動型の政策決定:事実、指標、データを使用した、目標、目的に合致する戦略的な政策決定

基本目標4 まちの魅力と活力アップ



※評価不可:1項目(P30参照「商品販売額の増加」)

基本目標5 住民直結の行政力アップ

